

亜熱帯地域の スツボン養殖技術研究

沖縄県水産試験場八重山支場

島袋新功

嘉数清

新垣盛敬

はじめに

本県は、亜熱帯気候に属し、周年温暖のため、スツボン養殖において冬眠期間が短かく、商品サイズまでの養成期間は、他県が4～5年かかるのに対しかなり短縮されるものと思われる。

本県でのスツボン養殖は、昭和45年から行われているが、歴史が浅く、技術・経営的に不安定である。現状では親亀が少なく、種苗のほとんどが台湾より輸入されていて、養成期間中の歩留りは低い。

本研究の目的は、経験的に行なわれているスツボンの養殖技術を検討し、種苗の豊産技術、養成技術及び疾病等の調査研究を行なうことにある。

初年度は産卵ふ化、成長、疾病、放養密度等の基礎的調査研究を行なった。報告するにあたり、色々な御便宜をいただいた関係各位に感謝の意を表したい。